

総合的な学習の時間 学習指導案

三次市立布野中学校
教諭 赤木 裕介

- 1 日時・場所 令和3年6月21日(月) 5校時 2年生教室
- 2 学 年 第2学年 5名(男子5名)
- 3 単 元 名 職場体験学習・学んだことを発信しよう
- 4 単元設定の理由

(1) 布野中学校区が育成を目指す資質・能力

○コミュニケーション能力

(伝える力)・・・課題を解決するための方法を考え、他者との意見の違いや関係性を意識し、相手に伝えることができる。

(学びの広がり)・・・考えの伝達や討議などの交流を通して、考え方や方法の良さに気付き、議論することの価値意識を持つ。

○主体性

自ら課題を見付け、見通しを立てて判断し、課題解決に向けて行動することができる。

○自らへの自信

自己を振り返り、新たな考えや価値を見出し、社会への貢献意欲を持つことができる。

(2) 生徒の実態

本校2学年は男子生徒5名だけで構成され、これまでクラス替えや他地域からの転入生もなく人間関係が固定化している。そのため、他地域の生徒との交流の際には、自ら進んで自分のことを伝えたり、表現したりすることが苦手な傾向にある。本中学校区が育成を目指す資質・能力の1つであるコミュニケーション能力に大きな課題があると言える。

生徒たちはこれまで、布野の地域学習を行ってきた。小学校5年生時に布野のお米について、小学校6年生時には布野の歴史について、中学校1年生時には布野の地域的課題について調べ、分析を行っている。

(3) 単元内容

本校2学年の課題であるコミュニケーション能力を高めるために、総合的な学習の時間を通して、自分の考えをまとめ表現し、他者へ表現する活動を通して、学びを広げ、伝える力を育成していく。

本単元では、これまで学習してきたことをもとに、布野の産業の特徴について調べ、布野の地域的課題の解決のために、地元産業をいかに有効活用するかを考えさせていく。職場体験学習で、地域産業の発信の中心である「道の駅 ゆめランド布野」を訪れ、実際に現場で働くことで、顧客のニーズや産業について情報を集め、布野の地域的課題を解決するために、地元産業をいかに有効活用するかを考え、今後の学習につなげていく。また道の駅の支配人と連携し、「道の駅 ゆめランド布野」の今後の役割を考えていく。

(4) 単元の目標

○コミュニケーション能力

職場体験学習や、聞き取り調査や調べ学習で得た情報を整理・分析し、まとめる活動を、他者と関わりながら行うことで、コミュニケーション能力を育成する。

○主体性

課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動することで主体性を高める。

○自らへの自信

今後の「道の駅 ゆめランド布野」のあり方や、地元産業の有効活用の方法を考えることで社会

への貢献意識を持たせる。

(5) 単元の学習を進める際の留意点

- ・他地域の人々や異年齢と交流する機会を設け、自分の考えを表現できる場面を意図的に設定する。
- ・情報の分析方法や手法を指導し、考えをまとめる力を身につけさせる。

5 本単元の、布野中学校校区が育成を目指す資質・能力の評価規準とルーブリック

評価の観点	布野中学校校区が育成を目指す資質・能力	評価規準
知識・技能	コミュニケーション能力 (伝える力)	布野町の課題に対して、課題を解決するための方法を、そのように考えた理由をふまえて述べている。
思考・判断・表現	コミュニケーション能力 (学びの広がり)	布野町の課題に対しての自分の考えを、他者の考えと比較することで広げたり、深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動しようとしている。
	自らへの自信	今後の「道の駅 ゆめランド布野」のあり方や、地元産業の有効活用の方法を考えることで社会への貢献意識を持とうとしている。

		A	B	C
コミュニケーション能力	伝える力	布野町の課題に対して、課題を解決するための方法を、他地域との比較を根拠に述べている。	布野町の課題に対して、課題を解決するための方法を、そのように考えた理由をふまえて述べている。	布野町の課題に対して、課題を解決するための方法を述べている。
	学びの広がり	布野町の課題に対しての自分の考えを、他者の考えと比較したり、布野の産業と関連させたりすることで、広げたり、深めたりしている。	布野町の課題に対しての自分の考えを、他者の考えと比較することで、広げたり、深めたりしている。	布野町の課題に対しての自分の考えをもっている。
主体性		課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、修正しながら、計画的に行動しようとしている。	課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動しようとしている。	課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考えようとしている。
自らへの自信		自分が地域のために、貢献できることは何かを考え、実行しようとしている。	今後の「道の駅 ゆめランド布野」のあり方や、地元産業の有効活用の方法を考えることで社会に貢献しようとしている。	今後の「道の駅 ゆめランド布野」のあり方や、地元産業の有効活用の方法を考えようとしている。

6 PBL(プロジェクト型学習)の考え方を取り入れた課題について

(1) 課題の内容

①布野の道の駅の今後の在り方について、中学生である自分たちができることを考えよう。

②①で出た考えを具体的に考えて実現しよう。

(例) 特産品をつくる。

→布野町の新たな特産品について検討しよう。

(2) 発表方法

期日 12月

場所 道の駅 ゆめランド布野

相手 道の駅の支配人

7 指導と評価の計画 (全52時間)

次	学習内容		生徒の探究を支えるための支援	育成される資質・能力
	探究活動	予想される生徒の探究方法		
1	「道の駅の役割」を考える。 【課題の設定】 今後の道の駅の役割について考えよう。	・インターネットを使って調べる。	地域から見た役割と利用者から見た役割があることに気付かせる。 課題①を提示する。	主体性
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;"> ※探究する順番やかける時数は生徒が判断し決定する </div>				
2	<p>【情報の収集】 「布野の道の駅について調べる。」</p> <p>【情報の収集】 全国の道の駅について調べる。</p> <p>【整理・分析】 布野の道の駅と全国の道の駅を比較しまとめる。</p> <p>【まとめ・表現】 布野の道の駅を活性化させるために、今後どのようなことができるか、考える。</p>	<p>【布野や全国の道の駅を調べる視点を考える】</p> <p>①立地 ②規模 (面積・従業員数) ③業種 ④サービスの形態 ⑤イベントなど ⑥販売品の特徴</p> <p>【調べたことを整理する】 それぞれの調べたことを、タブレット端末 (iPad) を活用し、布野の道の駅と比較する。</p> <p>お互いに調べた道の駅について交流する。</p> <p>比較した内容をもとに、布野の道の駅の今後について話し合う。 <予想される道の駅 ゆめランド布野の活性化方法> ・PR</p>	<p>必要な視点について考えさせる。</p> <p>より多くの情報を得るためにはどうすれば良いか考えさせ、役割分担を促す。</p> <p>共通点と相違点に注目するように促す。</p> <p>他の人の発表を聞きながら自分が調べた場所と比較するように促す。</p> <p>これまでに調べた情報をもとに考えるように促す。 これまでの学びを活用するように促す。</p>	<p>主体性</p> <p>コミュニケーション能力 (学)</p> <p>コミュニケーション能力 (伝) コミュニケーション能力 (学)</p> <p>自らへの自信</p>

	<p>・HP作成（布野の特産品PR）</p> <p>・アプリ作成（道の駅クエスト）</p> <p>・pepperを活用したもの。</p> <p>・商品開発（新たな特産品）</p> <p>・新しいアイスのフレーバー</p> <p>・三次市の歴史が感じられる食品 （布野の米×銀山街道=銀シャリ） （アスパラ×？）</p> <p>・イベント</p> <p>・収穫祭</p> <p>・スタンプラリー</p>			
	<p>【情報の収集】</p> <p>【整理・分析】</p> <p>考えた活性化方法が現実的な考えであるか調べて判断する。</p>	<p>ニーズを満たしているか、アンケート調査を行う。</p> <p>実現するために、必要なものは何か。どの位のコストがかかるのか調査する。</p>	<p>課題②を提示する。</p> <p>自分たちの考えた活性化方法が、地域のニーズを満たしているかを考えさせる。</p> <p>実現するのにかかる費用や時間を考えさせる。</p>	<p>コミュニケーション能力（伝）</p> <p>コミュニケーション能力（学）</p> <p>主体性</p>
	<p>【整理・分析】</p> <p>自分たちの考えをどのように発表して伝えればよいか考える。</p>	<p>文化祭に来る人たちは、どんな人達かをふまえて発表方法を考える。</p>	<p>発表を聞く人がどんな立場の人かを考えさせる。</p>	<p>コミュニケーション能力（伝）</p> <p>主体性</p>
3	<p>【中間報告】</p> <p>文化祭で分析・まとめたことを発表</p>	<p>Google スライドにまとめ発表する。</p> <p>劇形式での発表。</p>	<p>聞き手がわかりやすいように発表内容を工夫するよう促す。</p>	<p>自らへの自信</p>
4	<p>【内容の見直し】</p> <p>自分たちの考えを見直し、修正する。</p>	<p>提案時にいただいた意見をもとに、自分たちの考えを見直し、修正する。</p>	<p>本来の目的を確認させ、取り入れるべき意見を吟味させる。</p>	<p>コミュニケーション能力（学）</p> <p>主体性</p>
5	<p>【道の駅 ゆめランド布野の支配人へ向けて提案】</p>	<p>・Google スライドにまとめ提案する。</p> <p>・具体的な完成イメージ</p> <p>・運用費用</p> <p>・実行計画</p>	<p>相手に具体的なイメージが湧くようにまとめるよう促す。</p>	<p>コミュニケーション能力（伝）</p>
6	<p>次年度</p> <p>【提案時にいただいた意見をもとに、修正を加え実行する】</p>			

8 本時の展開

(1) 本時の探究活動

全国の有名な道の駅について調べ、分析し人気の理由を探る。

(2) 本時の目標

課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動することができる。

(3) 本時の評価基準

A 評価の例

課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、修正しながら、計画的に行動できる。

B 評価の例

課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動することができる。

C 評価の例

課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考えることができる。

努力を要する状況と判断できる生徒への支援

- ・視点の焦点化。
- ・まとめ方の提示。

(4) 予想される準備物

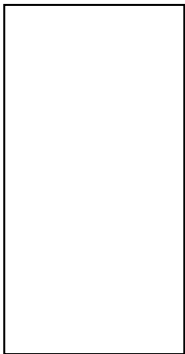


筆記用具 モニター パソコン iPad

(5) 予想される学習展開

	予想される学習内容	生徒の探究を支えるための支援 ◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手立て
導入	【これまでの学習を振り返る】	
展開	【全国の人気の道の駅について調べ、人気の道の駅の特徴を分析する】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">本時のねらい 全国の道の駅を調査し、人気の秘密を分析しよう。</div>	◆布野の道の駅がどんな特徴をもっているか分析するためには、他地域の道の駅と比較することで見出せることを促す。
	【全国の来客数ベスト10に入っている、道の駅の人気の秘密を調べる】 ・生徒に視点を考えさせる。 ・予想される調べる視点 ①立地 ②規模（面積・従業員数） ③業種 ④サービスの形態 ⑤イベントなど ⑥販売品の特徴 ・予想される調べる方法 ・タブレット端末（iPad）を活用し、各道の駅のホームページ等を調べる。 ・Googleマップ等を活用して周辺地域を調べる。	◆より多くの情報を得るためにはどうすれば良いか考えさせ、役割分担を促す。 ◆調べる方法として各道の駅はHPを立ち上げていることを伝え、iPadのGoogleマップを活用するように促す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・予想されるまとめる方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのシンキングツールを活用し、収集した情報をまとめる。 ・Googleスライドを活用し、まとめる。 	<p>◆共通点と相違点に注目するように促す。</p> <p>【評価規準】 課題解決に向けて、必要な情報や、情報を集めるための方法を考え、計画的に行動することができる。(まとめ内容)</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを行う。 ・次回の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、分析したことをまとめる。 ・各道の駅の共通点や相違点をまとめ比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、振り返りの内容を確認し、他の生徒の思考の幅が広がりそうな記述を取り上げ発表させる。 ・今回の分析でわかったことや、これまで調べたことをもとに次回の計画を立てさせる。

(6) 予想される板書内容

<p>本時のねらい 全国の道の駅を調査し、人気の秘密を分析しよう。</p>			
今日の流れ	道の駅の写真	調べる視点と方法	<p>まとめの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート ・スライド <p>ポイント</p>
			

単元終了後の追記

[成果]

地域の食材を活用した、商品を開発することができた。事業所での販売も決定しオンラインで販売予定である。

[課題と改善案]

生徒の興味関心の高い、食に対しての教材をあつかったが、地域の特産品を開発することと、地域の活性化があまり結びつかなかった。

地域の課題と特産品の開発のつながりがもてるように、特産品の開発で成功した自治体の例や、具体的な地域への効果について事前に指導する必要性があった。

[資質・能力の高まり]

コミュニケーション能力	伝える力	伝えること、自分の考えをまとめることはまだ課題あり。
	学びの広がり	地域の食材や良さや商品開発の大変さについては学びが深まったが、地域の課題まで考えることはできなかった。
主体性		地域の課題を自分で考えようとする姿勢は難しかった。
自らへの自信		自分の商品を自信をもってPRすることがまだ難しい。

[その他]

○やって良かったこと

実際に商品を作らせたことはよかった。また事前に学年会で何度も計画や流れを見直し、それをもとに道の駅の支配人・社長と密に連携を行ったことで、学習をスムーズに進めることができた。地域の協力が得られたことが大きい。

○今思えば、こうした方が良かったこと

職場体験に行く前にもっと事前指導を丁寧にやるべきだった。また職場体験を事業所に任せすぎたので、こちらも詳しい日程や事業所の実態を事前に把握する必要性があった。

○来年度、担当される先生方へのメッセージ

総合的な学習の時間を進める上で地域の人材を活用できることはとても大きいことと今回学ぶことができました。教師側がしっかりゴールイメージをもち、事前の計画や現状を地域の方を連携しやっていくことが重要であることを感じました。また生徒には、ゴールや期間を事前に示し計画立ててできるように、こちらがサポートできる体制を作ることも大切だと感じました。